

## ふるさと塩江を愛し、ともに力を合わせる心豊かな児童生徒の育成

ねがい

### 〈 目的 〉

自己の夢を持ち、自分らしくたくましくチャレンジする児童生徒を育てるために、地域の人々とふれ合う機会や異学年で積極的にふれ合う場を大切にし、人間関係形成力を育てることにしました。

つながり

### 〈 内容 〉

#### ● 地域で取り組むスマイルあいさつ運動

6月・11月の塩江地区あいさつ強調月間に、地域の方々とともに小中学校の全校生が「ピカちゃんバッチ」を胸に、スマイルあいさつ運動に取り組んでいます。地域の人々と児童生徒がふれ合うよい機会になっています。



【スマイルあいさつ運動の様子】



【全校SSTの様子】

#### ● 自分づくりなかまづくりを推進する活動

小学校では縦割り活動やSSTを、中学校ではピアサポートなどを活用しながら、自分づくり、なかまづくり、集団づくりに取り組んでいます。また、学習ルールや表現スキル等をもとに言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高め、伝え合う力を育成しています。友だちのことをよく理解しようとする態度を育て、自分自身を見つめることで自尊感情を高め、共感的な集団づくりに役立っています。

#### ● 地域でのボランティア活動

小学校では自分たちの地域や学校のためにどんなことをしたら役立つかを考えながら、地域での清掃活動や老人福祉施設との交流、巣箱点検など様々な活動に取り組んでいます。中学校では郷土学習で塩江マップづくりや塩江のポスターづくりを行い、町外から塩江に多くの人々に来ていただける機会を増やすための活動にも取り組みました。このような活動は自分たちの生まれ育ったふるさと塩江に誇りを持つことにつながり、自分自身の生き方を考える契機になると考えています。



【地域での清掃活動の様子】

高まり

〈 成果 〉 異学年間の交流活動となる取組を進め、小学校では上級生は下級生に思いやりの気持ちを持つこと、下級生は上級生に感謝の気持ちを持つこと、中学校においても生徒相互の信頼関係を築くなど児童生徒の絆づくりや郷土を大切にする気持ちを育てることにつながっています。今後は、平成27年度の小学校統合と施設一体型の小中連携教育に向けた9年間を見通した活動を推進したいと思えます。